

武蔵御嶽神社/社殿

2,000 年の歴史を持つ武蔵御嶽神社は、巡礼と山修行の場です。御岳山（929m）の山頂に鎮座しています。大口真神（おいぬ様）と、神道・仏教・道教・禁欲主義がもととなっている山岳信仰、修験道の本尊である蔵王権現が祀られています。宝物殿には、12～13 世紀に侍たちから奉納された刀や鎧が納められています。

拝殿（本社）は、数回にわたって再建されています。以前は、鎌倉時代（1185～1333 年）の初代幕府が設置されていた神奈川県鎌倉の方角である南向きでした。17 世紀になると、徳川幕府が移された先の江戸を守るため、東向きになるよう 45 度回転させて再建されました。

拝殿左側の小道は、他の小さな神社へと続いています。常磐堅磐社（1511 年建立）が最大のもので、漆黒の塗装に金箔の装飾が施されています。47 都道府県すべての神様が祀られています。その裏にあるのは、1 世紀にこの辺りの山で伝説の武士を救ったと伝えられている、大口真神（おいぬ様）が祀られている神社です。徳川家の金箔の家紋が 2 つ施された小さな木造の神社、東照社には、初代将軍である徳川家康（1543～1616 年）が祀られています。